

反対討論
議案第3号
 世界情勢の変化により、日米同盟やアジア諸国との関係を強化し、より強い絆が必要。集団的自衛権の問題の根底には、自分の国さえ無事であればいいということがある。国際的に孤立を深める。現在の状況で有事になっても自衛隊は動けない。憲法改正には時間がかかるし有事はいつどこに起こるか分からない。喫緊の課題。しかし、

議案第42号

反対討論
 軽自動車税の改正は、国民にとって大変な重税感がある。これは、自動車取得税を削減する補填財源にしようとしているところに問題があり、税収によって道路整備をしようという趣旨とも違うもので弱者に負担を押し付けるもの。従って、この条例案にも当然賛同しかねる。
 小松 大成議員

賛成討論

国際情勢は様々に変化しているが、いかなる条件があろうと集団的自衛権を認めることは出来ない。これを許してしまつたら憲法はあつてもなくても良いようなそんな状況をつくつてしまう。憲法は国民を縛るのではなく、時の政府を縛るといった性格がある。戦後60年間自衛隊は戦争で一人も人を殺していないことは、日本国民として大変な誇り。この状況を一変しかねない集団的自衛権行使容認は許せない。
 小松 大成議員



6月定例会議案審議結果

議案名	結果	
	賛成	反対
議案第42号 遠野市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	17	2
議案第43号 遠野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第44号 市道路線の認定について	全員賛成	
議案第45号 市道路線の認定について	全員賛成	
議案第46号 平成26年度遠野市一般会計補正予算(第2号)	全員賛成	
発議案第3号 集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書の提出について	17	2
発議案第4号 医療費助成制度における現物給付導入に係る交付金等の削減措置の撤廃を求める意見書の提出について	全員賛成	

平成26年6月定例会が6月6日に招集され、13日までの8日間の会期で開かれました。今定例会では、一般質問には9人の議員が登壇し、市政を問いました。提案された、条例2件、一般会計補正予算(1億6千万円)、その他2件の全5議案を原案のとおり可決・承認したほか、最終日には発議案2件を可決しました。

6月定例会

請願

請願第2号

岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願者
 岩手県保険医協会 会長 箱石 勝見

措置を撤廃し、現物給付に取組むことができない環境を整える必要があると判断し、採択とした。

請願項目第1項は、賛成少数で不採択、第2項は全会一致で採択となったことから、本請願は一部採択となりました。

一部採択の理由

医療費助成制度の現物給付にあたっては、本制度を導入した場合、導入自治体への国からの交付金が削減されることから、請願項目第1項「県は医療費助成制度について現物給付を導入してください。」については、時期尚早と判断し、不採択とした。

しかし、請願項目第2項「国は現物給付を導入している自治体に対する交付金の削減をやめて下さい。」については、制度導入のペナルティとも言われる国からの交付金の削減

議員発議

今定例会では、2件の議員発議案(意見書2件)が提出されました。このうち発議案第4号は請願第2号「岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願」の一部採択を受けて提出さ

れたものです。これら発議案の可決により、平成26年6月13日付けで、衆参両院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣、財務大臣、防衛大臣あてに意見書を送付しました。

賛否の公表

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
議員氏名	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	佐々木大三郎	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	菊池 充	瀧澤 征幸	小松 大成	織笠 孝之	菊池 邦夫	菊池 民彌	佐々木 譲	多田 誠一	安部 重幸	石橋 達八	浅沼 幸雄
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
発議案第3号	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号第1項	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	×

※議長は採決に加わりません。○は賛成、×は反対 ※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記します。



医療費支払窓口の様子